

「戦争を超え、和解へ」 諸宗教平和円卓会議

第2回東京平和円卓会議

2024年2月18 - 21日

日本、東京

声明文（仮訳）

私たち、コロンビア、ハイチ、インド、イスラエル、日本、ケニア、マリ、ミャンマー、パレスチナ、ペルー、ロシア、スペイン、トルコ、ウクライナ、米国の宗教指導者および多様な信仰、団体、宗教組織（仏教、キリスト教、ヒンドゥー教、イスラーム、ユダヤ教）の代表は、現在も紛争や戦争が続いている地域から、より平和で公正かつ包括的な社会のために、信頼を築き、分断を癒し、赦しと和解を育むために、第2回東京平和円卓会議に集いました。

私たちは、ハイチ、中東、ミャンマー、ウクライナなど、世界中の紛争地域で人々が想像を絶する苦しみを強いられていることを、深く憂慮しています。

私たちは、世界のあらゆる地域において、平和と安全の基盤が脅かされている一方で、最も弱い立場にある人々、すなわち女性や子どもたち、社会から疎外された人々が、砲火に巻き込まれ、激しい暴力、強制退去、その他の人権侵害に不当に苦しんでいることを認識しています。

私たちは、それぞれの宗教や信仰の神聖な教えに触発され、平和に向けた諸宗教のビジョンを一つにし、橋渡し役や平和構築者としての役割を果たし、戦争で引き裂かれたコミュニティで和解と良好な関係を育むという共通の責任において団結します。

私たちは、互いに同じテーブルにつけたこと、そしてこの諸宗教平和円卓会議に私たちを招集し、主催してくださった WCRP/RfP 国際委員会、同日本委員会、国連文明の同盟に感謝します。

第1回東京平和円卓会議での重要な学びを踏まえ、私たちは有意義な対話を行い、現在進行中の紛争や、癒しと和解に向けた諸宗教の行動に常に立ちはだかる障壁に対処するための考察と提言を交換しあいました。

私たちは皆、一つの人類家族の一員であり、幸福の分かち合いと人類の繁栄のための行動を推進するという集団的責務を負っていることを再確認します。私たちは、戦争と暴力は、生命の神聖さと人間の尊厳を守るという聖なる原則に反するものと認識し、戦争と暴力を強く非難します。

多様な信仰を代表する宗教指導者として、私たちは集団として次のことを確認します：

- すべての人間は生まれながらに自由であり、尊厳と権利において平等であることを認識し、生命の神聖さと人間の尊厳は、常に維持され、保護されなければならない；

- 宗教指導者は、積極的平和を育み、私たちが共有する人間性と幸福に対する思いやりと理解を促進するという共通の責任を有している；そして
- 紛争の影響を受けている人々への人道支援は、政治とは切り離され、平和、安全、正義、人間の尊厳の回復を基盤とするものでなければならない。

私たちは共に、次のことを呼びかけます：

- 現在進行中のすべての戦争、紛争、そして核兵器、通常兵器、サイバー兵器、即席爆発装置を含む暴力と兵器の使用を停止および転換させること。それは生命の神聖さと人間の尊厳を維持し保護するという平和的手段によって紛争を解決するという私たちの集団的責務に基づくものである。
- 戦争や紛争の時でも、平和と調和が保たれている時でも、礼拝所や聖地の神聖さと安全かつ自由なアクセスを維持し、保護すること；
- 積極的平和の推進に向けたすべての宗教・信仰コミュニティと各界関係者の協力；
- 信頼を築き、知恵を分かち合い、宗教間の協力と調和を育むために、紛争のあらゆる側から宗教指導者や市民社会、メディアを含むその他の各界関係者を招集して行う諸宗教の平和への対話の継続。

諸宗教による平和のビジョン実現に向けて、私たちは共同して次の行動に取り組みます：

- 橋渡し役として、また平和構築者として、激しい暴力、強制退去、その他の人権侵害に対処するための共通の行動において、誰一人取り残されることのないよう協力する；
- 私たちの宗教的資産とコミュニティを動員し、子どもたちやその他の弱い立場にある人々を含めて、戦争で引き裂かれたコミュニティに人道支援を提供し、共通善と私たちの共通の家（地球）保護のために、宗教間の協力を推進する；
- 幸福の分かち合いと人類の繁栄のための共通の行動を推進するために、女性や若者を含む各界関係者の持続的な参画を培い、促進する；
- 戦争と暴力の再発と長期化を回避するため、癒しと和解のための長期的なプロセスを通じて、積極的平和を構築する；
- 暴力、虐待、搾取、その他の人権侵害を生み出す上述の紛争や戦争によって傷つけられ、引き離された家族やコミュニティの団結と癒しを促進する；そして
- より平和で公正かつ包括的な社会のために、信頼を築き、分断を癒し、赦しと和解を促進するため、諸宗教平和円卓会議を引き続き開催する。

私たち宗教指導者は、現在進行中の戦争と暴力の過酷な状況に苦しんでいる人々に対し、心からの祈りと揺るぎない連帯を捧げます。私たちは、生命の神聖さと人間の尊厳を尊重することを基盤に、幸福の分かち合いを促進する平和の文化に向けて、祈り続け、諸宗教で取り組むことを再確認します。